

■藤島純七 大使

復興支援写真展  
「懐かしの南三陸町」



- ◆日時 11月20日(火)から12月3日(月) 午前9時30分から午後6時
- ◆場所 ニコンプラザ仙台 コミュニティスペース アエルビル29階
- ◆特別企画 12月1日(土) 午後2時からギャラリー講演会(入場無料、当日先着30名)  
演題 津波の紙芝居「ぼくのふるさと」 志津川上山八幡宮 櫛宜 工藤真弓さん
- ◆問い合わせ 藤島純七 ☎022-378-8081



■妃乃あんじ 大使

Minami sanriku Ange Lesson

初心者の方も基礎から丁寧に楽しくレッスンいたしますのでどなたでもお気軽にご参加ください。上手く踊ろうとか、下手だと恥ずかしいとか思わないで、一緒に自分自身を解き放ちましょう。

日 程	場 所	時 間 等
11月4日(日)	TERACO音楽スタジオ(廻館)	11:00~12:00 小学生ダンスレッスン 13:00~14:30 フラダンス
11月5日(月)	ペイサイドアリーナ体育館	14:00~15:30 バレエクササイズ
11月6日(火)	TERACO音楽スタジオ(廻館)	14:00~15:30 フラダンス

※Tシャツ(長袖可)・飲み物・タオル・汚れてもよい靴下等持参ください。

- ◆問い合わせ あんじダンスLesson事務局 ☎090-5619-5171

健康と復興まちづくりを考えるシンポジウム開催

地域連携協定を締結している宮城大学で、東北の復興まちづくりについて様々な分野の関係者が一堂に会し、それぞれの経験や情報を分かち合い今後の復興まちづくりにつなげていくためのシンポジウムが開催されます。

- ◆日 時 11月17日(土) [分科会] 午前10時から正午  
[鼎談] 午後1時から3時30分 ほか

◆会 場 宮城大学大和キャンパス(黒川郡大和町学苑1番地1)

◆締 切 募集期限 11月12日(月)

◆その他 鼎談参加のためのマイクロバスによる無料送迎を行いますので、希望者は問い合わせください。  
(集合場所: 南三陸町役場駐車場・平成の森)

◆申し込み・問い合わせ

宮城大学復興ステーション ☎47-1244

日本語講座 ボランティア講師募集中

基礎的な日本語を習得する場、地域住民との交流の場として、現在、日本語教室を開講しています。

- ・日本語を指導するボランティアをやってみたい方
- ・日本語や日本語教育に興味を持っている方
- ・いろいろな国の人と知り合いになりたい方  
興味のある方はお気軽に申し込みください。

※指導方法を習得したい場合、ボランティア講師養成講座を受講することができます。

※申し込み方法等詳細については、電話にて申し込みください。

◆申し込み・問い合わせ 町国際交流協会事務局(復興企画課内) ☎46-1371

# 庄内の風 ⑯

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

## 庄内町立図書館開館100周年

大正元年(1912年)に余目尋常高等小学校附設図書館として誕生した庄内町立図書館は、今年11月1日(木)、開館100周年を迎えました。  
地元の篤志家の寄付等により千数百冊から始まつ



た蔵書数も、現在は分館と併せ、約12万冊となっています。近年では、子ども読書活動に力をいれており、平成19年に「子ども読書活動優秀実践図書館・団体文部科学大臣表彰」を受けました。

今年6月には、100周年記念事業として、作家の落合恵子さんを講師として「こころの居場所・育つ場所」と題した講演会を開催しました。

参加者は「読み聞かせの大切さを改めて実感した。」などと話していました。今後も、多くの人に読書の大切さを伝えられるよう、図書活動を充実していきます。



復興応援大使  
リレー通信  
⑤

各地で南三陸町の地域ブランドのPRや復興まちづくりの状況をお知らせいただいている南三陸町復興応援大使の皆さんのお声をお届けする「復興応援大使リレー通信」を連載しています。  
今回は、母親が伊里前の出身で、元読売巨人軍の佐藤洋さんです。

復興応援大使  
佐 藤 洋さん  
(埼玉県)



(笑) 大人達は、食べられる意味合いに感謝し、これもまた「うまい、うまい」と感極まる場面もありましたが、いつの間にか自然に笑顔に変わっていました。本当にありがとうございました。

初めて南三陸町の「平成の森」にて、野球合宿を開催したのが、2007年の8月でした。地元の皆さんのおかげで、日本全国から集まった野球少年達・親・指導者の方々が「南三陸町ファン」となり、それ以来4年間「ベースボールキャンプin南三陸」と称し、素晴らしい環境の中で野球の技術を磨きながら、多くの皆さんと交流を深めてきました。震災後、昨年今年と開催を断念し、埼玉県・秩父郡小鹿野町(ちちぶぐんおがのちょう)にて、「南三陸応援合宿」を開催し、細い糸かもしれませんのが、南三陸とのつながりを切ることのないよう活動させていただいています。今年の合宿には、お世話になっている南三陸町の友人から、「皆さんで食べてください!」と、「ほたて」が届き、参加者スタッフ一同でおいしくいただきました。子ども達は、無邪気に「おいしい~!」と笑顔になり、7個も食べた強者も出現…

南三陸町からスタートしたこのキャンプが、大人や子ども達の出会いの「きっかけ」となり、たくさんの「笑顔」を引き出しながら成長させていただいている。ご協力いただいた皆様には、深く感謝いたします。将来を担う子供たちが、健やかに成長できるように、技術だけではなく、怪我をしない体作りやトレーニング方法など、微力ではありますが、今後も情報を発信しながらサポートができればと思います。来年のキャンプの復活と、南三陸町の皆様のご健康とご多幸を、埼玉の地より祈っています。寒さ厳しい折、お体ご自愛ください。